

## 一年生プレ課題研究



## 8/31(木)クラス発表会

### 概要

8月31日(木)各クラスでポスターによるプレ課題研究の発表会を行いました。

今回は78回生にとって初めて自分たちで行った研究をポスターにし、クラスメイトに向けて発表しました。

### —各クラスの様子—

- ・「甘口・辛口カード」を質疑応答時に活用し、研究内容に対して“甘口”“辛口”で質疑応答を行うことで聴衆からの鋭い質問や意見が発表者へさかんに行われていた
- ・聴衆を意識して堂々と発表できている人が多かった

### —改善点—

- ・発表者と聴衆の間に緊張感があまりなかった
- ・テーマから結論までの一貫性や不足している要素がある
- ・手元のメモを見ながら発表している人が一定数いたため本番では改善の必要がある
- ・グラフを使用していたほとんどの班にグラフの単位等に抜けが見られた
- ・文章をただ書いただけのポスターは聴衆にとっては読むのがつらいので図やグラフを用いるべき

## 9月9日(土)プレ課題研究発表会

9月9日(土)にプレ課題研究発表会が行われました。仙台大学の助教授や大学院生の方々、一学年保護者や中学生を迎える78回生にとって初めての大規模な研究発表会となりました。

### —発表の様子—

8/31(木)に行ったクラス発表での反省を踏まえて改良を重ねられ、発表やポスターがより聴衆を意識したものとなっていました。本番前での緊張した面持ちで練習を重ねる姿がとても印象的でした。

質疑応答は聴衆から、クラス発表とはまた違った研究についての鋭い質問や意見が多く出され、課題研究の難しさを強く感じさせる有意義な時間となりました。



### —プレ課題研究を通しての講評—

発表後の講評は東北大学の助教授の山口泰正先生にいただきました。今回の発表会の講評として「スマホやポスターなどを見ながらの発表がとても多かった。」「課題研究のテーマとして挙げられているもののほとんどがすぐに結論が出るもの、もしくはすでに結論に出ているものであり、あまりふさわしいとは言えない。」また、聴衆に向けての講評としては「質疑応答が少なかった。質疑応答は発表者に向けて敬意を表すものである。」など厳しくも的確なコメントをいただきました。

### —編集後記—

78回生として初めての8/31・9/9の二日間のプレ課題研究発表会を通して、聴衆に向けて研究内容を明確に、わかりやすく伝えることの難しさを感じたのではないだろうか。

山口先生からいただいたコメントをもとに10月から始まる課題研究に取り組んでいこう。

